

各地の会議報告(東日本編)

時の窓

前号に引き続き、今号では東日本(東京、東北、北海道)で開催された各種会議の様子を担当地区の常任委員が報告します。

～東京～

東京地連では、2013年2月2日(土)、3日(日)に地連管内の青年組合員を集めた「青嵐サミット」を開催しました。今年は例年以上の参加者が集まり、8支部から合計18人が参加してくれました。

1日目は、地連青年対策部長と青年協議長の講義を受け、全司法の歴史と組合の活動について学習しました。そして、座談会形式の意見交換会を行い、各自がどのようなきっかけで組合に加入したのかをもとに、4月期新規採用者の歓迎に向けてどのようにとりくんでいくべきか、意見交換しました。

2日目は、地連主催の友好祭典である「青年の集い」についての内容を検討しました。開催の時期や内容について、役員側だけでは出てこない意見が参加者から多く寄せられました。そして、最後は2日間の学習の内容を振り返りながら、組合や職場についてのクイズ大会を行い、参加者同士の交流を深めました。

参加者からは概ね好意的な感想が寄せられており、今後とも組合員同士の繋がりを利用して、様々なとりくみを実践していきたいと思えます。

東京地区常任委員 小島光太

159号



2013/6/7

「普段知り合う機会のない人たちと話すことが出来て、貴重な体験だった。」



「ぜひ、今回体験したことを支部に持ち帰って周りのみんなに話したい。」

「今までよく知らなかった組合のことを知ることが出来て良かった。」

～東北～

2013年3月23日(土)、24日(日)に東北地連労働学校・青年部長会議を開催し、管内各支部から青年を中心に、合計16名の参加がありました。

1日目は、全司法の歴史についての講義を受け、全司法ができる前の職場実態や全司法の役割・意義などについて学習したほか、会議室内でできるレクを行い、実際に体験することでレクの重要性を再認識しました。

2日目は、青年協議長から「これからの青年運動・全司法青年協のとりくみ」とのテーマで講義を受け、賃金決定の仕組みや労働組合の意義、青年協のとりくみなどを学習しました。その後、「青年部長会議」を行い、目前に迫った4月期新採用者の加入に向けての準備状況等の確認と意見交換を行いました。参加者からは、「他支部の発言を聞き、刺激を受けた」という感想がでるなど、非常に有意義な会議となりました。

東北地区常任委員 猪股陽子

～東北の続き～

学習会の様子



「この楽しさを青森の若者たちにも広めていきたい。」

「全司法の歴史や活動の内容を分かりやすく説明してただいただけでなく、現在の活動も具体的に説明していただけてとても勉強になりました。」

～北海道～

みんなで集合写真！！

「やりがいをもって組合活動にとりくむことが重要だと思った。」

「講義等についてとても勉強になりました。懇親会も楽しかったで



2013年3月2～3日、札幌市においてウインタースクールを開催しました。北海道地連では、組織強化・拡大などについて討議を行う会議と労働学校を同時に開催しており、昨年度から「ウインタースクール」という名称としています。今年は、各支部青年部の役員から昨年の新規採用者まで、合計20名が参加しました。

1日目は、青年協議長から現在の情勢や公務員の賃金決定方式、本部専従役員が普段どのような仕事を行っているのかについて講義を受け、学習を深めました。次に、参加者が組合側の役員、地連役員が当局側となって、模擬折衝を体験しました。

その後、1日目の終わりから2日目のはじめにかけては、職場で困っていること、組織強化・拡大にむけて、新規採用者に対する勧誘等について、参加者で率直な意見交換を行いました。

最後は「理想の裁判所を作るためには」と題して、数名ごとの班に分かれて様々な意見を出し合い、その結果を発表してもらいました。

北海道地区常任委員 大窪 剛

全司法青年協

検索

青年部長会議って？労働学校って？？

青年部長会議や労働学校等の各種会議は各地で様々な形式で開催されていますが、主目的は、管内各支部青年部(青年対策部)の役員をはじめ、青年が中心となって意見交換や学習を行うことです。

また、全司法労働組合が日頃どのような活動をしているのかを知る貴重な機会でもあります。

この「時の窓」を読んで、興味を持たれた方は、是非来年度以降の会議に参加してみてくださいね！！

次号予告～時の窓160号～

6月28日(金)発行予定

近畿地連で行われた友好祭典の様子をレポートします。

また、期末勤勉手当についての学習も予定しています！！